

回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第5号	令和4年8月9日	中山地域事務所	市民課
題 目（テーマ）： 高校医療費無償化について			
提 案 理 由（要旨）			
<p>今、伊予市の方では、中学生までしか医療費が無料ではありません。 高校生になると活動範囲が広がり、病気やケガのリスクが高まります。また、進学などで今まで以上に教育費がかさむので、ぜひとも高校生まで医療費を無料にしてもらいたいです。 その際には、所得制限を設けず、全ての世帯を対象にしてもらいたいです。 今からの未来を担う子どもたちに、希望ある未来のために、ぜひとも御検討いただけたらと思います。よろしくお願いします。</p>			
回 答 内 容			
<p>伊予市の医療保険施策に関し、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。 さて、本市における子ども医療費助成制度につきましては、子育て世代の経済的負担の軽減、疾病の早期発見治療の促進を図ることを目的として、平成28年12月診療分から中学校を卒業するまでの子どもを対象とした医療費の一部助成を実施しております。 こうした制度は、地方自治体が少子化対策の一環として行っており、全国的に子どもの医療費助成の対象範囲を広げる動きが目立っておりますが、各地方自治体の施策や財政状況により助成内容にばらつきが生じております。 本市といたしましては、未来を担う子どもに対して、住所地に関係なく安心して医療を受ける機会を保障するとともに、その子どもを育む家庭の経済的な負担を軽減するため、地方自治体間のばらつきをなくし、全国一律の社会保障制度を創設するよう国・県に積極的に要望しているところでございます。 なお、更なる助成制度の充実を図るよう、継続して先進地や近隣自治体からの情報収集などを行い、調査・研究に努めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。 この度は、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。</p>			